

町民の安全確保の充実

防犯器材部会 部会長 角義隆

防犯協会の機材部会は町内の通学路等の安全確保及び犯罪を抑止する目的で、防犯灯設置事業等に当たっています。今年度も防犯灯の要望調査を募り、7月に機材部会・事業部会の合同部会で協議を行い、8月に防犯灯の新設LED灯の交換合わせて12カ所の交付決定をし、12月までに工事完了をしていただきます。

これからも犯罪事故防止の為、町民のみなさんご協力、ご理解をお願いします。



通学合宿を通じて

通学合宿部会 部会長 川崎保人

今年も町内各種団体の協力を得ながら小学四年生を対象に橘公民館で通学合宿を行いました。子供たちが一定期間施設に泊まりながら共同生活を行い、通学・食材の買出し・食事作り・後片付け・学習をするなど班ごとに活動を行うことで、自立心や自主性を育み、家庭のありがたさを感じることができた活動だったと思います。三日間の活動の中では、お菓子なし、テレビ・ゲーム機の使用禁止であったため、日常から離れるいい機会だったと思います。このように、地域の皆様のご協力を得て、楽しい合宿を行うことができたことに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



ふれあい講座を開催して

教育部会 部会長 毛利高

子どもたちの夏休み期間を利用し、学校の教室を飛び出して「ふれあい講座」として学習応援と野外活動に取り組みました。書道教室、絵画教室及び木工教室（2日）の4日間開催し、何れも20名を超える子どもたちの参加があり、初めて筆を握ったり、思い思いの絵が描けました。木工教室では、山で竹を切り倒し汗だくになって担いで帰りました。低学年の子もノコギリ・ナイフ・ドリルなどで、そうめん流しに使う器と箸を自分で作り、そうめん流しでは食欲旺盛な子どもたちに「湯がき」をせかされることも。竹の水鉄砲作り・遊びでは、頭から靴までびしょ濡れになりながら掛け合い、楽しい時間を過ごせました。各講座教室での講師の先生方、竹の伐採加工作業とそうめん流しに応援戴いた公民館長さんと橘ボランティアの方々、本当にありがとうございました。



編集後記 広報公聴部会 部会長 鳥越安男

皆さん第3号「橘だより」いかがだったでしょうか。橘だよりを作成するにあたり、部会員で楽しく試行錯誤しながら作り上げました。それぞれの部会のご協力、誠にありがとうございました。次回、第4号もお楽しみにお待ち下さい。(K.N)



橘だより

vol. 03
2017.10

編集発行：橘町まちづくり推進協議会 広報公聴部会
表紙字体：馬場茂館長

田んぼの学校



マウンテンマウスミニコンサート



かっぱ隊読み聞かせ



通学合宿



キッズルーム



周防大島交流団



ふれあい講座（書道）



ふれあい講座（絵画）



ふれあい講座（大工）



心豊かで明るく住みよい町づくりを目指して

橘町まちづくり推進協議会 会長 古川正明

本年度からまちづくり推進協議会会長を仰せつかっている大日区長の古川正明でございます。よろしくお祈いします。

さて橘町まちづくり推進協議会は、橘町の心豊かで明るく住みよい町づくりを目指して活動を行っております。活動に当たっては、協議会の目的を達成するため、生活環境、青少年育成、歴史文化、産業、安心安全等の11専門部会を組織し事業を推進してありまして、おかげさまで他町にはない活発な活動ができていますと自負しております。こうした活動は、マンネリ化しないよう常に点検見直しを行う必要があると考えております。今後の活動ですが、本年度の総会でも申し上げましたように、協議会を更に発展させ効率的な活動ができるよう専門部会を集約し組織変更を行うため、町内老若男女の各組織の代表者で専門部会をつくり議論を行っております。

今後とも町民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお祈いします。



今年度の地域コミュニティ部会の活動について

地域コミュニティ部会 部会長 峰松良和

昨年度は、多くの町民の方の参加協力をいただき、有難うございました。今年度も年間行事として三つの行事を予定しています。①町民ふれあい祭り②ご来光初詣の集い③ときわばもち会です。町民ふれあい祭りについて、前回の部会の中で、ふれあいカラオケ大会で各区出場者の人選に苦労したとの報告があり、今回はどの様にするか意見が出ましたが、カラオケは昨年同様実施する様に成りました。人選は大変と思いますが、早目に取りかかり、各区1名の参加を是非お祈いします。ご来光初詣の集いについて、今年度は上宮東側の木を伐採して有り眺望も良くなり、すべての行事が上宮で行われます。今年度も昨年以上の初日の出が見れる事を期待しております。今年度も町民の方の参加協力をお願いします。



周防大島交流団派遣事業を通じて

青少年育成部会 部会長 小田良博

子供達の心身の健やかな発達のためには、体験学習が非常に有効であり、必須であると思います。橘町は、早くより交流団派遣事業を始められております。今年も小学生15名と団員13名で、2泊3日の周防大島に体験活動に行ってきました。美しい自然と温かいおもてなしのなかで、素晴らしい体験学習ができました。特に2日目の力又ー体験には人一倍気を遣いました。台風の余波で、なかなか思うように力又ーが進みませんでしたが、役場職員さんの指導もあり、約1kmの島渡りも全員無事に完走しました。困難を伴う体験を協力して乗り切ったことで、友達と協力することの意味や大切さを学ぶとともにやり遂げたことで、児童には自信がついたことと思います。橘町の皆様のご理解とご協力に、感謝いたします。最後になりましたが、将来を担ってくれる子供達のために、この貴重な周防大島交流団派遣事業の継続を望みます。



歴史と文化でまちづくり

歴史文化部会 部会長 山崎定嘉

歴史文化部会は主として、橘町歴史研究会編「橘町の史跡めぐり」郷土史家 中島信夫著「橘町の歴史」及び武雄市史(上・中・下巻)で学ぶ範疇内で橘町全体を俯瞰し、活字で書かれている歴史を具現化する手始めに、長崎街道・塩田道沿道に道標を建立。そして、潮見河童伝説に基づき手作りによる「河童の里」づくりに邁進しているところであります。9月24日(日)にはタケさんぼが橘コースで行われました。寺社仏閣の見学に併せ、町内外の篤志家から河童像等の寄贈により「かっぱ村」が誕生し、それが、佐賀県一のかっぱ村にまで成長している現状。食味ランクで連続7年特Aに占位する橘産米さがびより。女鷹匠として全国的に活躍しておられる石橋美里さんの存在を、ウォーキング参加者に広く宣伝し、橘町の知名度アップと町の繁栄に繋げるべく努力しております。



マイエンザ教室で学んだこと

生活環境部会 部会長 前田義行

橘小学校での「マイエンザ教室」も早いもので今年で5回目となりました。きっかけは、マイエンザを使ってプール掃除をしてみませんか、学校訪問をしたところ、先生から、「マイエンザは誰でも簡単に作れる安全な食品なので、子供たちに作らせてみては」と指導を依頼されました。5年生のみなさんは2時間の講習会にもかかわらず、集中を切らさず真剣な眼差しで受講されておられます。後日、自分で作ったマイエンザは各々いろんな使い方で使用(実験)されているようです。成果報告も頂いています。プールでは掃除日の3週間ほど前にマイエンザを投入しておくだけで簡単に汚れや藻がとれるので、作業時間が半分以下で済みます。プールの底面もヌメリがとれ、滑りにくくなっています。薬品を使用しないので子供達にも安全で、洗い流されたプールの水も環境浄化に役立っています。私たちは子供たちと一緒に生き物たちが棲む自然を大切にしています。



町内の安全確保

防犯事業部会 部会長 森山義秀

橘町防犯協会防犯事業部会として、青色回転灯パトロール事業を中心に事業推進に当たっています。青色回転灯パトロール事業は、特に、橘小学校の児童の下校時の安全を守るため実施しています。橘公民館、橘小学校の公用車に青色回転灯を設置して、地域では区長、自治公民館長さんを中心に、また、小学校では保護者の皆さんがパトロール活動を行っています。このパトロール活動に参加するためには、「パトロール実施者証」が必要ですので、毎年、多数の町民の皆さんの参加を得て、青色回転灯パトロール講習会を実施しています。これからも、町民の皆さんの協力をいただきながら防犯意識の向上を図り、町内の安全なまちづくりを推進します。

